

国土強靱化に向けた港湾機能の強化～主な検討の視点(案)～

令和元年7月2日
交通政策審議会
第76回港湾分科会
参考資料3

- 平成30年に発生した7月豪雨や北海道胆振東部地震では、陸上輸送等が寸断し、港湾が支援の拠点として重要な役割を果たした。
- 切迫する大規模地震・津波や気候変動に伴う災害の激甚化に対応する必要があることから、今後重点的に取り組むべき災害時の幹線物流機能の確保等の国土強靱化に向けた港湾における防災機能の強化方策を検討する。

主な検討の視点(案)

<陸上輸送寸断時のリダンダンシーの確保>

- ・災害時におけるフェリー等による物資・旅客輸送の強化

<大規模地震時の内陸への緊急物資輸送>

- ・避難場所の位置や道路等の寸断を考慮した耐震強化岸壁の適正な配置
- ・耐震強化岸壁から被災地への緊急物資の確実な輸送

<災害脆弱地域における復旧・支援拠点の形成>

- ・離島港湾や避難港等における防災機能の強化

等

スケジュール(案)

令和元年 11月 中間とりまとめの素案

令和2年 3月 中間とりまとめ